

教室のきこえの環境評価シート ver.2.0 日本教育オーディオロジー研究会 (2011)

	右耳 聴力レベル	dB	使用器種
▼子ども	左耳 ”	dB	”

▼クラス _____ 学校 _____ 年 _____ 組 (_____ 人学級) _____ 先生 (授業 _____)

※通常学級の場合： 支援体制〔 補助教員〈全時間、一部の時間〉、特定の時間に通級、なし 〕

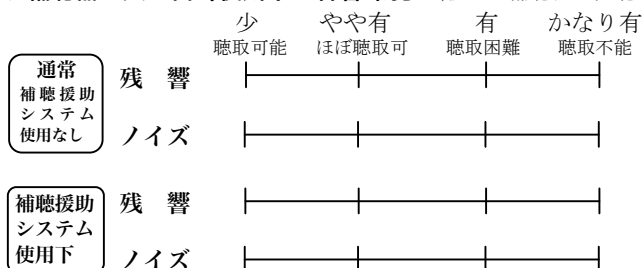
▼ 教室の概観図

教室の大きさ〔大, 標準, やや小, 小〕
 床〔木板, タイル, ラバー, カーペット, _____ 〕
 天井〔吸音材, 穴あきボード, _____ 〕
 壁〔スチール, 石膏ボード, コンクリート, _____ 〕
 ドアと窓〔開放, 一部開放, 閉鎖〕
 机とイス〔四つ足, 逆T字, テニスボール足, _____ 〕

教師の声: _____ dB A (_____ dB C)
 <必要に応じて測定>
 ※子どもとの距離: 通常 _____ m (_____ ~ _____ m)

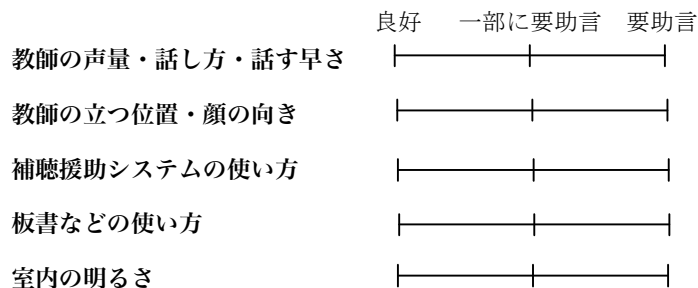
▼補聴援助システム〔 FM _____ メガ Hz 帯, 赤外線, 磁気ループ, タイムループ, 音場増幅 (室内拡声), 使用なし 〕
 使用システム名・構成: _____ 授業時の作動状況: 良, 問題あり

▼ 補聴器・人工内耳使用下の音響環境 (教室で補聴器を試聴して評定すること)



騒音レベル: _____ dB A (_____ dB C)
 残響時間: _____
 <必要に応じて測定>
 ※教室内・外のノイズとなる音源:

▼ 授業上の配慮・環境



◎総合評価

◎方針・助言など